

# 持続可能な原料調達

原料の産地は、時代とともに世界各地へ…。アヲハタグループは、「良い商品は、良い原料から」との考えに基づき、生産者との信頼構築、栽培技術の研究を進め、高品質な原料の安定確保に努めています。

## 良い商品は、良い原料から

### 穫れたての味と香りを閉じ込める

創業以来、「良い商品は良い原料から」という理念のもと、お客様に安全でおいしい商品をお届けすることを使命としています。

原料一次加工※の工場は原料産地に立地しています。適切な熟度で収穫された果実は、新鮮なうちに一次加工されたのち、私たちの工場へ届けられます。

※一次加工とは、果実のヘタや不要なものを除去し、洗浄、凍結させること



## フルーツ原料のサプライヤーとのエンゲージメント

### フルーツ原料サプライヤーとの信頼関係

理想とするフルーツ原料は、サプライヤーとの深いパートナーシップなくしては手に入りません。彼らは単なる取引相手ではなく、互いに尊重し、高め合う仲間です。ときには私たちの専門技術者が現地へ赴き、長年培った栽培技術を共有することもあります。そうして築き上げた信頼関係は、なかには40年以上に及ぶものもあります。

この信頼関係は、私たちの品質へのこだわりであると同時に、お客様への約束でもあります。近年の気候変動のような予測不能な事態が起きても、お客様の食卓へ欠かさずジャムや冷凍フルーツなどの商品をお届けするための最も大切な資産です。収穫量が変動しても、世界中に広がる原料サプライヤーと連携し、最高の品質と安定した生産量を確保します。

これからも世界中の畑から日本の食卓へとお届けしてまいります。



### サプライヤーCSRガイドライン\*の共有

当社ではお客様により商品を継続してお届けするため、持続可能な調達の実現に向けた「サプライヤーCSRガイドライン」を策定し、お取引先・生産者の皆様への遵守のお願いを継続しています。

さらに、2024年からは、人権と労働に関する項目に特化したチェックリストを用いて、現地訪問の際にスタッフによる実地確認する体制をスタートしました。人権と労働に関して確認する時間を設けることで、改めてあるべき姿を相互理解する活動の場となっています。

これからも持続可能な原料調達に関する活動をさらに進化させ、お客様に安全でおいしい商品を提供し続けるとともに、地球環境や社会へ貢献することで、未来世代に豊かな自然と食文化を継承していくことを目指します。

※サプライヤーCSRガイドラインとは、「持続可能な調達のための基本方針」をより具体的にお取引先・生産者の皆様へお示しするために策定したものです。



## 持続可能な原料調達のために

### 持続可能な原料調達のために

持続可能な原料調達を実現するためには、環境への配慮や人権の尊重など、社会的責任への対応が求められています。これは、お客様に安心して当社の商品をご利用いただくうえで欠かせない重要な要素です。

当社では、良質な原料を安定的に確保するためには、サプライヤーの皆様との信頼関係に基づく協働が不可欠であると考えています。こうした考えのもと、当社は「持続可能な調達のための基本方針」を策定し、責任ある調達活動を推進しています。

### 持続可能な調達のための基本方針

アヲハタグループは、創業以来「フルーツ加工品は原料を選ぶことによって7割が決まる」という信念のもと、常に良い原料を求め、安全・安心でフルーツのもつ美味しさにこだわった商品づくりに努めてきました。しかし、今や良い原料の条件としては、美味しさ・安全性だけでなく、環境や人権に与える影響にも配慮していることも求められており、お客様に安心・ご満足いただくために欠かせない要素となってきています。こうした中より良い原料を安定的に調達するためには、お取引先と一緒に取り組んでいく必要があります。それによってお取引先と私たちの持続可能性を高め、お客様に良い商品をお届けすることにつながっていくと考えます。

よって、以下のことをアヲハタグループの持続可能な調達の基本方針といたします。

- ① 法令を遵守し、国際的なルール・慣行にも配慮した取引を行うとともに、腐敗行為の防止を徹底する。
- ② 公正で誠実な取引を行うとともに、機密情報や知的財産を適切に管理する。
- ③ 人権を擁護し、差別的な言動や非人道的な扱いを行わず、また人権侵害に及ぼさない。
- ④ 従業員の労働者としての権利を尊重し、適切な労働慣行と安全で衛生的な職場環境を確保する。
- ⑤ 地域と地球環境の汚染と破壊を防止するため、資源の持続可能な利用に努める。
- ⑥ 安全で高品質な原料を持続的に利用できるように、生態系への影響も考慮した管理を行う。
- ⑦ 原料を生産する地域社会が持続可能になるよう、積極的に貢献する。
- ⑧ 上記に関して、自社のお取引先にも同様の配慮をお願いする。
- ⑨ 上記に関して、適時・適切な情報開示を行う。

## 気候変動リスクへの対応

近年の気候変動が原料産地に与える影響を踏まえ、主要なフルーツ原料産地に関する気候変動データの収集・集約・可視化を進めるとともに、気候変動に適應した栽培方法の検証にも取り組んでいます。これにより、将来にわたって安定的かつ持続可能な調達体制の構築を目指しています。

